

白杵市観光パンフレット

うすきで 充電中。



臼杵市観光交流プラザ

臼杵の観光はここから始まる!!



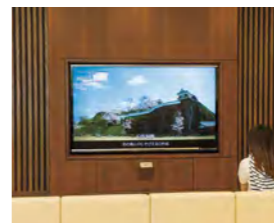
◀レンタサイクルも行っていきます。

うすきのまちの
ランドマーク
観光の拠点&
市民の交流プラザ



臼杵を知る、
めぐる、堪能する

観光情報案内コーナーや季節のイベントコーナーのある1階では、臼杵の観光・産業・歴史などの情報をわかりやすく展示しています。町歩きの出発点としての情報は、ここに集約されています。そのほか、観光客や市民が自由に使えるスペースもあり、案内所ではコンシェルジュが常時対応いたします。



「オリエンシアター」
臼杵を知る最短コースかも!



パネルでは伝えきれない情報を
フォトフレームで発信!



「プラザピアノ」
臼杵の歴史を歩んできたピアノ。
どなたでもご自由に弾いていた
だけです!

城下町
うすき
あるき



US
AR
KI

ゆっくり、ゆったり臼杵時間
「うすきあるきMAP」を手に
町歩きを楽しみませんか!

うすきあるきとは?

観光交流プラザをスタート・ゴールに、マップを片手に自分のペースで好奇心のおもむくままに、いろいろなところを立ち寄りながら、臼杵の街歩きを楽しめるコースです。

戦国時代、九州六ヶ国を治めたキリシタン大名・大友宗麟が、弘治二年(一五五六年)、四方を海に囲まれた天然の要塞であった丹生島に丹生島城(臼杵城)を築城しました。その当時の臼杵は、明やポルトガルの商人が行きかう国際的な商業都市として大変栄えました。
現在の町並みは、美濃(岐阜県)から慶長五年(一六〇〇年)に入封した稲葉氏によって築かれました。
城を中心に、商家がたち並び、その外側を武家屋敷や寺院が取り囲むように町が形成されていることが大きな特徴です。

曲がりくねった道やカギ型の通などぶらぶらと歩くのが臼杵の楽しみ方です。来るたびに古いもの、そして新しいものの発見が必ずあります。



国宝 白杵石仏 ときを旅する。こころを旅する。

古園石仏

平安末期から鎌倉初期の作とみられる中尊の大日如来像は、切れ長の目と引きしまった口元が端正で気品あふれる表情をみせています。以前は、頭部が胸部から外れていましたが、平成5年の修理工事で元の位置に戻し、あらためて世界的にその美しさが知られるようになりました。

古園石仏大日如来像に代表される「国宝白杵石仏(国宝・特別史跡 白杵磨崖仏)」は、六十体の磨崖仏からなります。平安末期から鎌倉時代にかけて彫られたもので、磨崖仏としてはその数、そして彫刻技術の高さから、日本を代表するものです。

石仏群は、ホキ石仏第二群、ホキ石仏第一群、山王山石仏、古園石仏に分かれ、それぞれが仏の世界を立体的に表現しています。

ホキ石仏 第一群(堂ヶ迫石仏)



ホキ石仏第一群第2龕(がん)

平安末期から鎌倉期に至るまでの磨崖仏が20数体並び、まさに壮観です。4つの龕からなり、第1龕は、如来坐像3体と菩薩立像2体、第2龕は阿弥陀如来坐像、薬師如来坐像、如来坐像の3体、第3龕は大日如来像ほか4体、第4龕は地藏菩薩半跏像並びに十王像の11体で、いずれも秀作ぞろいです。

山王山石仏



中央に丈六の如来像と左右に脇侍の様に如来を刻む三体の如来像で構成されています。仏像の顔は輪郭が丸く、目鼻は小じんまりとして童児のそれをおもわせ、今にも語りかけるような口もとなどは、邪気のない純真無垢な童顔そのものです。通称「隠れ地藏」と言います。

金剛力士立像



古園石仏の諸仏像と製作技法がよく似ていることから、この金剛力士立像はいずれも古園石仏と同時期に、彫刻されたものではないかと考えられます。



ホキ石仏第二群第1龕(がん)

極楽浄土を表す2龕からなり、第1龕には阿弥陀三尊像が、第2龕は、「九品の阿弥陀」と呼ばれ、比較的小さな仏像が彫られています。

観光施設料金表

国宝 白杵石仏 TEL0972-65-3300

- ・大人(高校生以上) 550円※30人以上から
- ・小人(小中学生) 270円 団体割引あります。

★お得な共通券をご利用ください

4施設共通券 ・国宝白杵石仏・旧白杵藩主稲葉家下屋敷
・野上弥生子文学記念館・吉丸一昌記念館
1,140円(大人券)／560円(小人券)

※共通券は上記の全ての施設で購入可能。
※土日祝のみ販売

2施設共通券 ・国宝白杵石仏・旧白杵藩主稲葉家下屋敷
710円(大人券)／350円(小人券)

※共通券は上記2施設で購入可能。

白杵石仏ボランティアガイドの会

- 申込み先／TEL0972-65-3300(3日前まで要予約)
- 案内地域／白杵石仏 ○ガイド料／無料
- 受付時間／午前10時～午後3時まで

特別祈願法要



古園石仏前に願い札を入れていただく「御祈願箱」を設置しており、仏教会有志寺院の僧侶により特別祈願法要が行われています。

※開催日は(一社)白杵市観光協会へお問い合わせ下さい。



国宝白杵石仏まつり

白杵石仏群などの前に置かれたかがり火と参道や深田地区一帯に並べられた約1000本の松明が一齐に点火され、石仏周辺一帯が幽玄の世界に包まれる。幻想的なお祭り国宝白杵石仏まつりは8月の最終土曜日に開催されます。



①宝篋印塔

満月寺境内の北端に立ち、通称日吉塔と呼ばれています。台座からの総高4.2mで鎌倉後期の作と言われています。



②満月寺

満月寺は、伝説によれば白杵石仏の縁起に欠かせない真名長者の発願により三重町内山蓮城寺を開いた蓮城法師によって創建されたと言われています。



③仁王像

満月寺境内にある。膝から下が土に埋もれ、力強い作風であるが、ユーモラスな表情をしています。



④(伝)蓮城法師像

真名長者のもとで石仏を彫ったといわれる人物です。



⑤(伝)真名長者夫妻像

石仏を造らせた人物と言われています。室町期作。



⑥化粧の井戸

伝説によると顔にキズのあった玉津姫が、この井戸で顔を洗ったところきれいにキズがとれ、美人になったと言われています。

石仏周辺蓮畑
7月中旬～8月中旬見頃



四季の花



石仏周辺シバザクラ
3月中旬～4月末見頃



石仏周辺コスモス
9月中旬～10月中旬見頃

石仏周辺彼岸花
9月中旬～10月初旬見頃



深田の里 ご案内図



千里の行も
足下より始まる

日本の心が 息づくまち 白杵



龍原寺三重塔

龍原寺の三重塔は太子塔とも呼ばれ聖徳太子を祀る塔です。安政5年(1858年)に竣工したこの塔は九州に2つしかない江戸期の木造三重塔の一つとして知られています。



旧真光寺

廃寺を改修した市民ギャラリー兼休憩所(入場無料)



旧丸毛家住宅

白杵藩の上級武士の屋敷で、一般公開しています。静かな住宅街の中でこの空間だけが時間が止まったように感じられます。(入場無料)



うすき竹宵

毎年11月の第1土日に二王座周辺で開催されます。

二王座歴史の道

二王座付近は、狭い路地のいたるところに城下町特有の面影をのこしています。中でも岩を切り割って道を通した「切通し」と呼ばれる二王座歴史の道付近は、白杵を代表する景観となっています。



九州之図
江戸時代初期の九州を描いた地図。かなり細かく正確なのは、島原の乱もあって幕府が詳細地図を欲したためと言われています。



元禄年中御改豊後国絵図控
江戸時代の元禄年間(1688~1704年)に、幕府の命令で作られた豊後国の絵図。資料館では、本来巨大なこの絵図を約4m四方に縮小して、床パネル(複製)として展示。当時は将軍がこのの上に乗って見ていたと言われています。



延宝4年(1676年)ごろの臼杵城下の絵図は原寸で巨大な床パネルに!(複製)



通年手形
一般660円、学生330円で購入できる年間パスポート「通年手形」は、臼杵市が所蔵する『竹取物語』などをデザイン。好きなデザインを選べます!

臼杵市歴史資料館



大友宗麟公レリーフ
(日名子実三作のレプリカ 臼杵城跡内)



国崩し(佛狼機砲)のレプリカ
(臼杵城跡内)



大友宗麟

宗麟(本名=義鎮)は、21代当主として家督を受け継いでからは、海外貿易で得た富と優秀な家臣団に恵まれ九州全土へとその領土を広げ、永禄3年(1560年)には九州6ヶ国(豊前・豊後・筑前・筑後・肥前・肥後)の守護職と九州探題に任ぜられました。弘治2年(1556年)、府内の館(今の大大分市)から臼杵城へ居を移し、臼杵の「まち」の繁栄の源を築きました。晩年の天正6年(1578年)には自ら臼杵で宣教師カブラルについて授洗し「フランシスコ」と称しました。

南蛮文化の 香る城下町

貴重な歴史的財産の宝庫



サーラ・デ・うすき
大友宗麟時代に実在したと言われるノビシャド(修練院)を模して作られました。町中のにぎわいと食の情報発信を行っており、臼杵の魅力を感じることができます。



久家の大蔵
江戸時代後期(1868年)、臼杵市浜町に建築され、長年酒の貯蔵庫として使用されていました。大蔵の壁面にポルトガルの伝統的装飾絵タイル「アズレージョ」をほどこし、南蛮文化交流施設として蘇りました。ロジェリオ・リベイロ氏作 平成12年5月完成



臼杵城跡(国史跡)

大友宗麟によって築かれ、江戸時代は臼杵藩五万石の城として幾多の歴史を積み重ねてきた臼杵城。春になると満開の桜が見事に咲き誇り「臼杵城址桜まつり」が行われています。

臼杵の過去・現在・未来をつなぐ
臼杵市所蔵の歴史資料は、古文書・典籍・絵図・工芸品など、江戸時代以降まとまって伝わるものとしては県下有数の資料群で、総数は3万5千点以上にのぼります。
3か月ごとにテーマをかえて、この資料群の中から様々な資料を展示しています。特にお薦めはお姫様の婚礼調度。豪華な蒔絵が施された調度品は必見! ぜひご覧ください!!



臼杵市歴史資料館ご利用案内

- 開館時間/9:30~17:30 ※入館は17:00まで
- 休館日/火曜日(祝日のときはその翌日)および12/29~1/3
- 入館料/一般330円(280円) 学生160円(140円)
*()内は20名以上の団体または市内有料公開施設の共通券(発券した日から3日以内)を保有する方の料金です。
- 通年手形/一般660円 学生330円 *市内の学生は無料です。



心もカラダも湯ったり……
白杵の温泉
 おんせん県で有名な大分県。
 白杵にも色々な温泉があります。
 白杵の温泉で心もカラダも
 しっかり充電できます。
 ぜひお越しください。

【うすき薬師の湯】 白杵の新しい温泉です。地下深くから湧き出る熱湯には様々な成分が溶け込んでおり、温泉成分の濃度は通常の三倍で、独特のヌルヌル感が人気です。

白杵湯の里
 入浴時間／平日 10:00～22:00
 土・日 10:00～23:00
 (受付は30分前まで)
 入浴料／600円(大人) 360円(小人)
 ※宿泊料についてはお問い合わせ下さい。
 問合せ先／0972-65-3711



鷲来ヶ迫 温泉

伝統の「温冷交互浴」が人気で、風呂上りは肌が「キュッキュ」となります。ミネラル豊富な湯船に浸かり、身体をリフレッシュできます。

依屋旅館
 入浴時間／4月～10月 16:00～18:30
 11月～4月 16:00～18:00
 (受付は30分前まで)
 入浴料／大人500円(中学生以上) 300円(小学生以下)
 定休日／水曜日・木曜日
 ※宿泊料についてはお問い合わせ下さい。
 ※4月の受付終了時間は、変動するためお問い合わせ下さい。
 問合せ先／0972-62-3526



「六ヶ迫 鉱泉」(源泉 薬師堂)

源泉水を飲むことができ、糖尿病などに効用があります。飲泉湯治による療養は今も人気で、遠方からの利用者で賑わっています。



日本一のおんせん県おおいた 味力も満載



吉丸一昌記念館「早春賦の館」



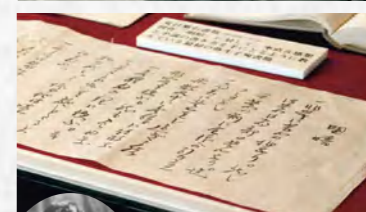
市指定有形文化財
 板井家住宅、早春賦の
 作詞者として知られる
 吉丸一昌、ユキ夫人の実
 家を記念館として開放
 しています。

吉丸一昌記念館「早春賦の館」

■開館日：土日祝日及び年末年始(12/29～翌年1/3)
 ※上記の開館日以外に入館を希望する方は、入館希望日の3日前までに白杵市役所までお問い合わせください。
 ■開館時間：9:00～17:00
 ■入館料：大人(高校生以上) …………… 220円
 小人(小中学生) …………… 110円
 ※20人以上から団体割引があります。
 TEL: (平日)0972-63-1111(白杵市産業観光課)
 (土日祝日)0972-63-7999



**郷土出身の作家
 野上弥生子文学記念館**



夏目漱石書簡
 (明治40年1月17日)
 習作「明暗」に対して、
 率直な感想と小説の書き方を
 手にとるように教えている、
 最初の弥生子宛書簡です。

99才でこの世を去るまで文筆活動を送った野上弥生子の偉業をたたえるため、昭和61年に文学記念館が開館。現在の小手川酒造である、弥生子の生家の一部を記念館とし、館内では少女時代の勉強部屋も見学できるほか、逝去の直前まで執筆に使用されていた弥生子愛用の品々、夏目漱石から弥生子に宛てた手紙など、貴重な遺品が約200点展示、公開されています。
 代表作
 「秀吉と利休」「海神丸」

野上弥生子文学記念館 ■開館時間：9:30～17:00(12/31～1/3休館)
 TEL: 0972-63-4803 ■入館料：大人(高校生以上) …………… 310円
 小人(小中学生) …………… 150円
 ※20人以上から団体割引があります。



旧平井家住宅
 江戸時代の後期の建築様式をよくとどめた上級武士住宅。天井裏から発見された棟札によって安政6年(1859年)の建築であることが確認されました。

旧稲葉家別邸は、廃藩置県に伴って東京へ移住した旧藩主・稲葉家の白杵滞在所として明治35年(1902年)に建設されたものです。稲葉家は東京移住後も、旧第百十九国立銀行などへの出資を行うなど、白杵の経済にも影響を与えました。旧平井家住宅と同じ敷地内にあり同時に見学できます。



**旧白杵藩主
 稲葉家下屋敷**

稲葉家下屋敷 ■開館時間：9:00～17:00(最終入館は16:30) ■入館料 ●大人(高校生以上) …… 330円
 ■貸館利用料：下屋敷本体(大書院・御居間・台所) 1時間当たり 410円 ●小人(小・中学生) …… 160円
 TEL: 080-4063-9855 ・離れ棟(西の間・大西の間) 1時間当たり各310円 ※20人以上から団体割引があります。

江戸時代全時期を通じて、白杵藩主として海部・大野・大分三郡の内に領地(五万石)をもった稲葉氏は、慶長5年(1600年)12月、白杵にやって来ました。初代貞通は、関ヶ原の戦いにおいて家康方(東軍)に味方し、軍功によって美濃国(今の岐阜県)郡上八幡城から白杵へと転封されたのです。稲葉氏は元々伊予(今の愛媛県)河野氏の流れをくみ、本姓を越智氏といいますが、稲葉家歴代の事績を編纂した「稲葉家譜」には、慶長5年11月、譜代の重臣達20人が先発隊として白杵に入り、竹田岡城の中川氏が守衛していた白杵城の受け取りを済ませ、翌12月25日、貞通が嫡子典通(2代藩主)などを伴って白杵に入ったと記されています。その後、明治4年(1871年)、15代藩主久通の代で廃藩置県を迎えるまでの約270年間、質素倹約、勤勉といった言葉で表すことのできる、白杵人気質の礎を作り上げていったのです。

稲葉家の歴史



(月桂寺蔵・稲葉貞通公肖像)



白杵時間、体感

豊かな環境のなかで自然体験や農業体験、
史跡めぐりなどを楽しむことができます。

グリーンツーリズム

グリーンツーリズムとは??

農村に滞在し、自然や文化、人との交流を楽しむ旅のスタイルです。
四季折々の食べ物を囲みながら地域のひとと語り、透き通った川で遊んだりすることで、自然の中で心の豊かさを感じることができます。

協同組合 吉四六さん村グリーンツーリズム

代表理事: 亀井 町子
白杵市野津町野津市901
TEL.0974-32-7181
FAX.0974-32-7764
Mail:goraku-an.4092@jcom.zaq.ne.jp

くらたび白杵

代表: 平林 真一
連絡先: kuratabiusuki@gmail.com
(メール問い合わせのみでお願いします)
<https://kuratabi-usuki.net/>



グリーンツーリズムの楽しみ方

地域の人と一緒に散策する、農泊家庭に泊まって夜ごはんを一緒に作りみんなでご飯を食べる、農泊家庭の縁側でただぼーっと景色を眺めてみる、楽しみ方は自由自在です。あなたにあった過ごし方を見つけてください。



吉四六ランド



吉四六さんを感じ、自然に触れ合い、運動できる総合レジャーパーク。野津らしい食事と吉四六ばなしが楽しめる吉四六さんの家をはじめ、吉四六公園では、複合遊具で遊ぶ、池の周りの藤やアジサイなどの四季折々の花が楽しめます。多目的広場や野球場など運動施設もあり、幅広い世代の方にご利用いただけます。春には1,000本以上の桜が咲き誇り、桜の開花時期に合わせて吉四六まつりが催されます。

金明孟宗竹 (県指定天然記念物)



孟宗竹の突然変異で鮮やかな緑色と黄色とが交互に節を彩ります。昭和45年に民家で数本が発見されて以来、県の特別保護林に指定されています。5月が見頃。

普現寺



吉四六さんの菩提寺。紅葉シーズンになるともみじが幻想的にライトアップされます。



大自然にめぐまれた
民話の里

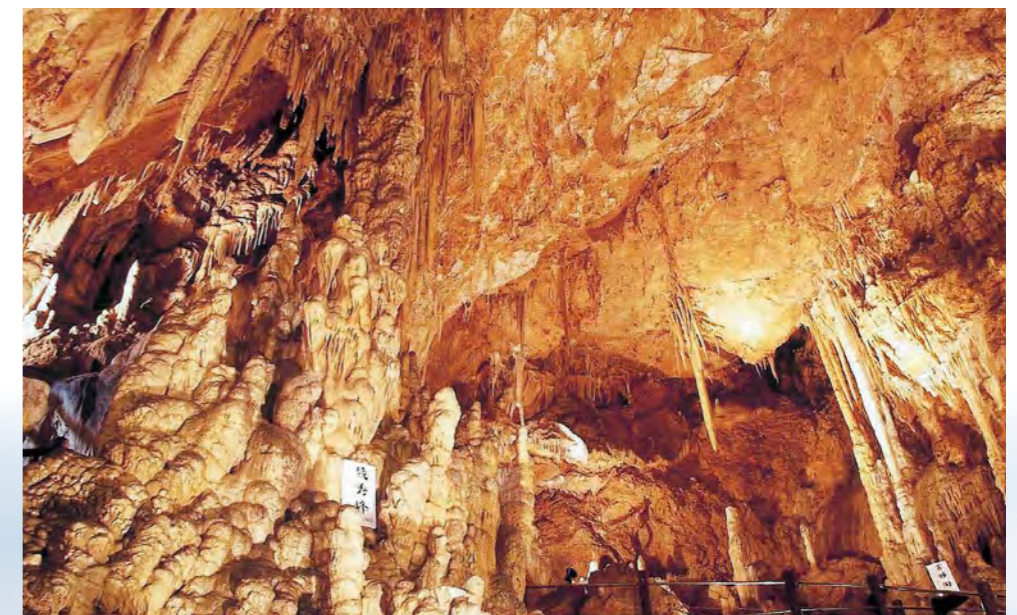
自然環境に恵まれ、
天然記念物や文化遺産が
数多く残されている野津地域。
ゆかいなとんち話で知られる
吉四六さんのふるさとです。



「馬に加勢」
山にたきぎを取りにきた吉四六さんは、たくさんの木を伐つていくつもの束をつくと馬の背に乗せました。荷が重いの馬はよろよろ。それを見た吉四六さんは、「こりや、むげねえ(かわいそう)のう。」
よし、わしがちつと加勢しちゃうと、たきぎの束を二つほど降ろして自分がかつきました。
ところが、今度は吉四六さんが重い荷でよろよろ。そこで「アオよい、おれが加勢しちゃうたんじゃけん、そんかわりにわしを乗せて行っちゃくれー」と言つと、吉四六さんは、たきぎを背負ったまま馬に乗ってしまいました。
これでは馬がたまりません。前よりも一層へとへとになって、山を下りていきました。

吉四六ばなし

風連鍾乳洞 (国指定天然記念物)



風連鍾乳洞入場料

- ・大人(高校生以上).....1,000円
 - ・小人(小・中学生).....700円
- (団体20名様以上1名につき100円引)

お問い合わせ 風連鍾乳洞観光協会 (駐車場有り)

〒875-0351 白杵市野津町泊
TEL.0974-32-2547/FAX.0974-32-4112
営業時間: (3月~9月) 9:00~17:00
(10月~2月) 9:00~16:00

※台風や集中豪雨などで増水した場合、入洞不可となりお休み致しますので予めご了承ください。





各自治体や経済団体、企業様などの視察・研修旅行、修学旅行などの学校行事はもちろん、個人やグループでのご利用もお待ちしております。

町並みガイド



人生もガイドの仕事も
今日の一步から

■うすきタウンツーリズム研究会
 申込先/TEL 090-7380-4337
 (代表代理 長瀬 誠)
 料 金/有料
 案内地域/・臼杵城下町観光ガイド
 ・臼杵城址ガイド
 ・古地図で町並みガイド



教壇での経験を生かし
自分の感動をみんなの感動に

■臼杵石仏ボランティアガイドの会
 申込先/TEL 0972-65-3300
 (石仏事務所)
 料 金/無料
 案内地域/・臼杵石仏

ガイドをすることで深まる
自分の中の臼杵愛



■うすき町並みガイドの会
 申込先/TEL・FAX 0972-62-3745
 (会長 笹山 昭義)
 料 金/有料
 案内地域/・町並み散策エリア
 ・二王座歴史の道
 ・臼杵城跡等

臼杵は城下町じゃなく
ジョーク町や!



■(幽)うすきミワリクラブ
 申込先/TEL 0972-64-7130
 (古谷 美和)
 料 金/有料
 案内地域/・臼杵町並みエリア
 ・臼杵石仏



臼杵の歴史・文化・産業・風土など
あなたの知的好奇心を満たしてくれる
「ほんまもん観光人」が待っています。

ほんまもん観光人に会いに行く

臼杵 まなび旅

ほんまもん観光人とは、臼杵市で培ってきた歴史・文化・産業・教育などの幅広い分野において先駆的な活動をする市民で、臼杵ならではの感動、思い出を来訪者に提供する方々のことです。

古来「観光」とは「光」を「観る」ことだといわれていました。「光」とは「真理」「本物」という意味で、現代の観光は本物の風景や建造物を観ることが主な目的になっています。

「臼杵まなび旅」は、本物のある場所(=観光地)で、その地域で活躍している本物の人たち(=ほんまもん観光人)に出会い、交流することで臼杵ならではの感動、思い出をつくってもらうことを目的としています。

ほんまもん観光人
総勢50人!

「ほんまもん観光人」に会いに行く臼杵まなび旅

ほんまもん観光人は市民からの推薦に基づいた9分野、約50人を臼杵市観光協会が登録。体験内容はそれぞれの分野で異なります。



臼杵ふぐと
料亭文化を
体感したい



発酵・醸造文化を
学びたい



ほんまもん野菜が
美味しい訳を
学びたい



石仏の里で
会いたい人達



漁師町深江の
ブルーツーリズム



臼杵の高度な
モノづくりを
学びたい



臼杵城下町の
ダイレップな世界を
ご案内



和と心と
作法で
心身をリセット



城下町の
素敵な商店主に
会いに行こう



お問合せ

一般社団法人 臼杵市観光協会 〒875-0041 大分県臼杵市大字臼杵100番2
 ■TEL/0972-64-7130 ■FAX/0972-64-7117 ■E-mail/info@usuki-kanko.com





郷土料理

江戸時代、藩の財政難から生まれました。魚の切れ端まで美味しくいただく「きらすまめし」、クチナシの実で色をつけ赤飯の代わりにしたとされる「黄飯」など。質素が産んだ、オリジナルがここにあります。



地酒

1杯目は地酒で乾杯。白杵の乾杯条例には、食への敬意が込められています。白杵には4つの酒蔵があり、それぞれが地元の原材料を使い、地元名物の魚料理に合うように酒を造っています。白杵の食は白杵の酒でご賞味ください。



食文化創造都市

白杵

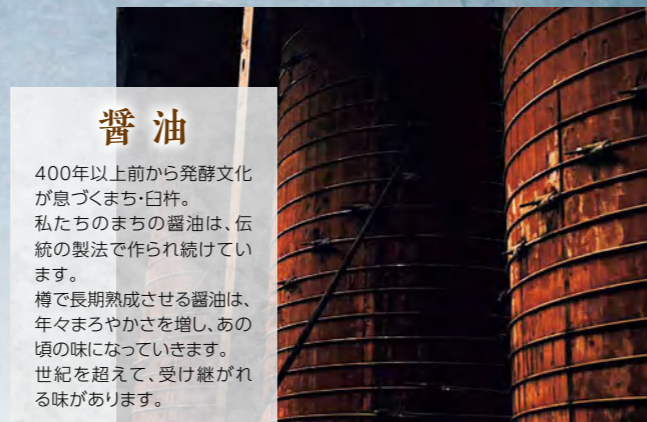
CITY OF GASTRONOMY

ユネスコ食文化創造都市白杵



味噌

白杵の味噌作りは、待つことから始まります。大量の蒸気で蒸す大豆、菌の動きを待つつくる麹。それらを天然熟成させ、やっと完成した味噌は、感謝の気持ちとともに届けられます。ゆっくりと寝かせた分だけ美味しくなります。



醤油

400年以上前から発酵文化が息づくまち・白杵。私たちのまちの醤油は、伝統の製法で作られ続けています。樽で長期熟成させる醤油は、年々まるやかさを増し、あの頃の味になっていきます。世紀を超えて、受け継がれる味があります。



ほんまもん農産物

白杵の農業は、土づくりから始まります。草木を主原料とした完熟堆肥を使い、化学肥料及び化学合成農薬の使用を避けて作られた農産物は、素材本来のほんまもんの味になります。料理の脇役でなく、主役の野菜です。



精進料理

白杵の精進料理。住職が修行で体得した禅の味。1時間擦りつけたゴマを使う「ごまどうぶ」。強力粉をひたすら練り上げて作る「生麩」。食のマインドフルネス。手間と心をお召し上がりください。



白杵には、味噌や醤油、お酒などの発酵・醸造文化、質素倹約を旨とする郷土料理、土づくりからこだわった野菜たちなど、人々が手間と心をかけて揃ってきた食文化があります。

ここ白杵を旅するとき、優しく穏やかな人々や、どこか懐かしい景色とともに、私たちの大切な食文化にゆっくりと触れてみてください。



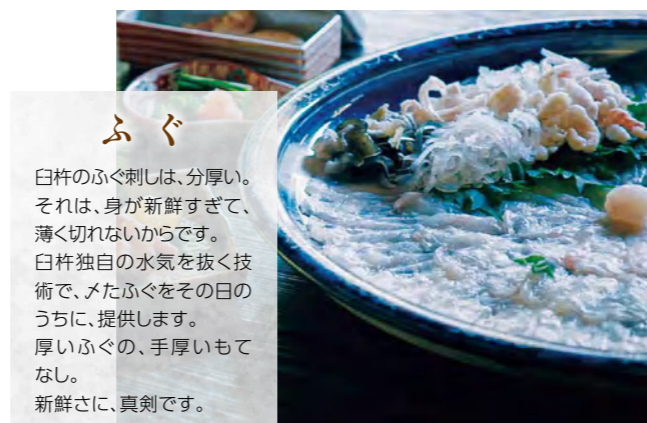
創造性(creativity)を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。各都市はネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力などを行います。

2025年10月末現在、世界の加盟都市は408都市で、8分野(文学、映画、音楽、クラフト&フォークアート、デザイン、メディアアート、食文化、建築)のいずれかに分類されています。



本膳料理

江戸時代と同じ食材で、一週間の手間をかけて作られる、それが、白杵の本膳料理。白杵藩主 稲葉家から伝承された当時の食べ方も、体験できます。伝統を、味わう。作法を含めて、料理です。



ふぐ

白杵のふぐ刺しは、分厚い。それは、身が新鮮すぎて、薄く切れないからです。白杵独自の水気を抜く技術で、メタふぐをその日のうちに、提供します。厚いふぐの、手厚いもてなし。新鮮さに、真剣です。

白杵食文化創造都市推進協議会では、白杵の食文化を詳しく掲載した冊子の作成や、豊かな食文化を体験・学べるイベントを開催しています。冊子は市内観光施設等に設置していますので、ぜひご覧ください。





本場
臼杵ふぐ

臼杵の先人達が、大切に育んできた食文化の一つにふぐ料理があります。豊後水道の急流にもまれたとらふぐは、独特の旨味と強い弾力、歯ごたえが特徴で、「ふぐの王様」と称されています。市内には、ふぐ料理の店が多数あり、一年中、ふぐの贅沢な味わいを楽しむことができ、全国各地より多くの人が訪れています。



ブランド
かぼすブリ
潮風ぶり

臼杵を代表する特産品カボスを餌に混ぜて育てた「かぼすブリ」。「かぼすブリ」を超えるために、厳選茶葉や抗酸化作用のある専用飼料を与えて育てた「潮風ぶり」。生産者が真心こめて育てた養殖ブリをお楽しみください。



名物
フカ

臼杵では古くからフカを食べる文化があります。フカは、「サメ類」の総称のことを言い、臼杵市では主に底はえ縄漁業という漁法で漁獲されており、県内の主な生産地となっています。そのため、鮮度のよい美味しいフカを堪能できます。



特鮮
タチウオ



豊後水道で一本釣りされたタチウオは銀色に光り脂がのり、身が引き締まっています。美味しくと評判です。特に、その品質を保つための取組として共同出荷を行っています。第41回農林水産祭において「天皇杯」を受賞するなど、県内外からマル白ブランドとして高く評価されています。

豊かな海で育つ臼杵の魚
臼杵市は豊後水道北部の臼杵湾に面しており、水産業が盛んな地域です。瀬戸内海からの潮流と太平洋からの黒潮がぶつかりあう「豊後水道」は、潮の流れが速く、プランクトンなどの餌も豊富であることから、そこで漁獲される魚の身のしまりや適度の脂の乗りは最高です。漁業種類も多様で、徹底した品質管理を行う漁師の技とそのおいしさを最大限に引き出す料理人の技が織りなす「臼杵の魚」を、ぜひご堪能ください。



かやく
エソなどの白身魚と豆腐、野菜を煮込んだ料理です。大晦日にたくさん作り、お正月の3日間の間、温めなおして食べていました。煮返せば煮返すほど美味しくなります。



きらすめし
脂の多い魚の身を醤油に漬けて、オカラと混ぜあわせる。臼杵藩時代から伝わる郷土料理です。



茶台寿司
臼杵に古くから伝わる伝統料理です。ネタは椎茸やレンコンなどの野菜が中心で、魚介類は旬の魚を酢で締めたものが使われています。シャリを握って上下にネタを付け、大皿に並べて出されるのが臼杵では一般的です。



レースケ
標準和名は「クロアナゴ」といいます。豊後水道で獲れ昔から湯引きや天ぷらなど、様々な料理に活かされています。



カマガリ
標準和名は「クログチ」といいます。臼杵では古くからお祝い事に欠かせない魚です。「カマガリ」という呼び名は「ご飯をカマ(釜)ごと借りて食べなくてはならないほど美味しい魚」に由来しています。



夏ふぐ
臼杵では、夏にふぐを食べる「逆旬(ぎゃくしゅん)」の文化があります。産卵後に身に栄養が蓄えられ旨味が増したふぐを、季節を問わず楽しめます。



うすき
銘菓・銘茶

銘菓

うすきせんべいは生姜の匂いと甘い砂糖の風味で、一度食べたら忘れられない味。約400年の稲葉氏入封の際、保存食として用いられていた米、麦、稗などの穀物を材料に焼いた食品が始まりと言われています。



お茶

遊休農地を活用した土地利用型農業として、約85haが栽培されています。有機のお茶もあり、映画「種まく旅人」の舞台にもなりました。



醸造の町
うすき



醸造のノウハウは臼杵の長い歴史で蓄積され、お酒造りから始まり、味噌や醤油など、臼杵の醸造業は西日本で大きなシェアを誇っています。



ほんまもん農産物は認証シールが目印です。

ほんまもん農産物

うすき夢堆肥などの完熟堆肥で土づくりを行った元気な畑の農産物!

特長①土の力でつくった農産物!

有機質肥料から力(栄養)をもらった元気な野菜たちです。

特長②臼杵市長が認証する農産物!

臼杵市が生産者の生産工程記録を審査し、化学肥料及び化学合成農薬の使用を避けたことが確認できた圃場(畑)を臼杵市長が認証します。



うすきカボス

臼杵を代表する特産物。その芳香と豊かな風味は、全国に知られている。臼杵での生産量は全国でもトップクラス。

甘太くん(べにはるか)

近年、さつまいもの品種「べにはるか」も生産量が拡大しています。収穫後、甘みを増すために専用の貯蔵施設で、一定管理温度のもとで40日以上貯蔵して誕生します。





普現寺もみじライトアップ

境内には、約200本のもみじが植えられており、赤と黄色のじゅうたんを作ります。



うすき竹宵(日本夜景遺産認定)

晩秋の夜、約2万本もの竹ぼんぼりが幻想の世界へと誘います。



臼杵祇園まつり

県下三大祇園のひとつで城下町臼杵にふさわしい壮観な祭りです。



臼杵城址桜まつり

県内屈指の桜の名所で知られる臼杵城址桜まつり。



2月
うすき雛めぐり
(2月上旬から3月上旬)

12月
国宝臼杵石仏年越供養法要

11月
うすき竹宵(第1土曜)
普現寺もみじライトアップ(下旬)

野津市八朔おどり(下旬)
王の字火まつり
(8月1日(旧暦)から3日間)



8月
山内流遊泳大会(中旬)
西神野風流杖踊り(中旬)
ふるさと盆踊り大会(中旬)
国宝臼杵石仏まつり(最終土曜)

臼杵祇園まつり(中旬)
臼杵天神夏祭(下旬)
住吉まつり(下旬)



7月
石仏の里蓮まつり(中旬)



6月
黒島キャンプ・海水浴場開き(中旬)



東神野風流杖踊り(4月上旬)



4月
臼杵城址桜まつり
(3月下旬~4月上旬)
吉四六まつり
(3月下旬~4月上旬のいずれかの日曜日)

うすきのお祭り
スケジュール

臼杵市



凡例

PA	IC	高速道路
●	○	国道
○	○	主要県道
●	○	市役所
○	○	道の駅
○	○	里の駅
○	○	観光案内板
○	○	フリーWi-Fiエリア
○	○	キャンプ場
○	○	ゴルフ場
○	○	車イストイレ
○	○	トイレ
○	○	駐車場



■ビジネスホテル (白杵地域)

- ・クレドホテル白杵
白杵駅前 ☎0972-63-5666
- ・ホテルニューうすき
千代田区 ☎0972-64-0777
- ・ビジネスホテル すが野
新町 ☎0972-63-3388

■旅館 (白杵地域)

- ・五嶋旅館
浜 ☎0972-63-1051
☎090-1199-7066
- ・喜安屋旅館
港町 ☎0972-63-6600
- ・かどー旅館
二王座 ☎0972-63-1939
- ・白杵 湯の里
深田 ☎0972-65-3711
- ・春光園
祇園西 ☎0972-63-3128
- ・俵屋旅館
六ヶ迫 ☎0972-62-3526
- ・川口屋旅館別荘 久楽
下ノ江 ☎0972-64-2000
- ・旅館海の家
佐志生 ☎0972-68-3111
- ・ホテル蔵
祇園西 ☎0972-64-0616
- ・茶旅庵 蓮
深田 ☎0972-65-2528
- ・石仏旅館
深田 ☎090-4353-7527

■ゲストハウス

- ・USUKI ART HOUSE
白杵 ☎080-8117-2239
- ・USUKI TRAVEL GUIDE
白杵 ☎080-1773-8228

■民宿 (白杵地域)

- ・黒島荘
佐志生 ☎0972-68-3939

■宿泊 (野津地域)

- ・橘屋 (たちばなや)
野津町板屋 ☎0974-32-2026

■交通機関連絡先

- ・大分バス総合案内所 ☎097-532-7000
- ・臼津交通株式会社 ☎0972-63-3153
- ・宇和島運輸フェリー ☎0972-63-5118
- ・九四オレンジフェリー ☎0972-62-5844
- ・白杵タクシー ☎0972-63-3311
- ・白杵タクシー (野津営業所) ☎0974-32-2311
- ・富士タクシー ☎0972-62-4111
- ・日産レンタカー ☎097-534-0138
- ・㈱トヨタレンタリース大分 ☎0972-64-0180

■空と陸

- ・大分空港へ 東京から1時間45分 名古屋から1時間5分
大阪から55分 沖縄から1時間45分
- ・大分空港からサウスライナー (バス) で1時間30分
- ・大分駅から日豊本線特急35分で白杵駅
- ・大分自動車道・鳥栖JCより約2時間
- ・北九州市から東九州自動車道経由で約2時間
- ・宮崎市から東九州自動車道経由で約2時間30分
- *白杵ICで降りる

■鉄道

- 新幹線で小倉へ 東京から6時間 名古屋から4時間
大阪から3時間 広島から1時間
- ・小倉から日豊本線特急2時間35分で白杵駅

■海

- 愛媛県八幡浜からフェリー2時間15分で白杵港

■お問合せ

- 白杵市観光交流プラザ ☎0972-63-1715 FAX.0972-64-7117
- 白杵市産業観光課 ☎0972-63-1111 FAX.0972-64-0203
- (一社)白杵市観光協会 ☎0972-64-7130 FAX.0972-64-7117
- 白杵石仏事務所 ☎0972-65-3300 FAX.0972-65-2010
- 白杵市歴史資料館 ☎0972-62-2882
- 旧白杵藩主稲葉家下屋敷 ☎080-4063-9855
- 野上弥生子文学記念館 ☎0972-63-4803
- 吉丸一昌記念館『早春賦の館』 ☎0972-63-7999
- 吉四六の里観光協会 (白杵市野津庁舎) ☎0974-32-2220 FAX.0974-32-2224
- JR 白杵駅観光案内所 ☎0972-63-2366